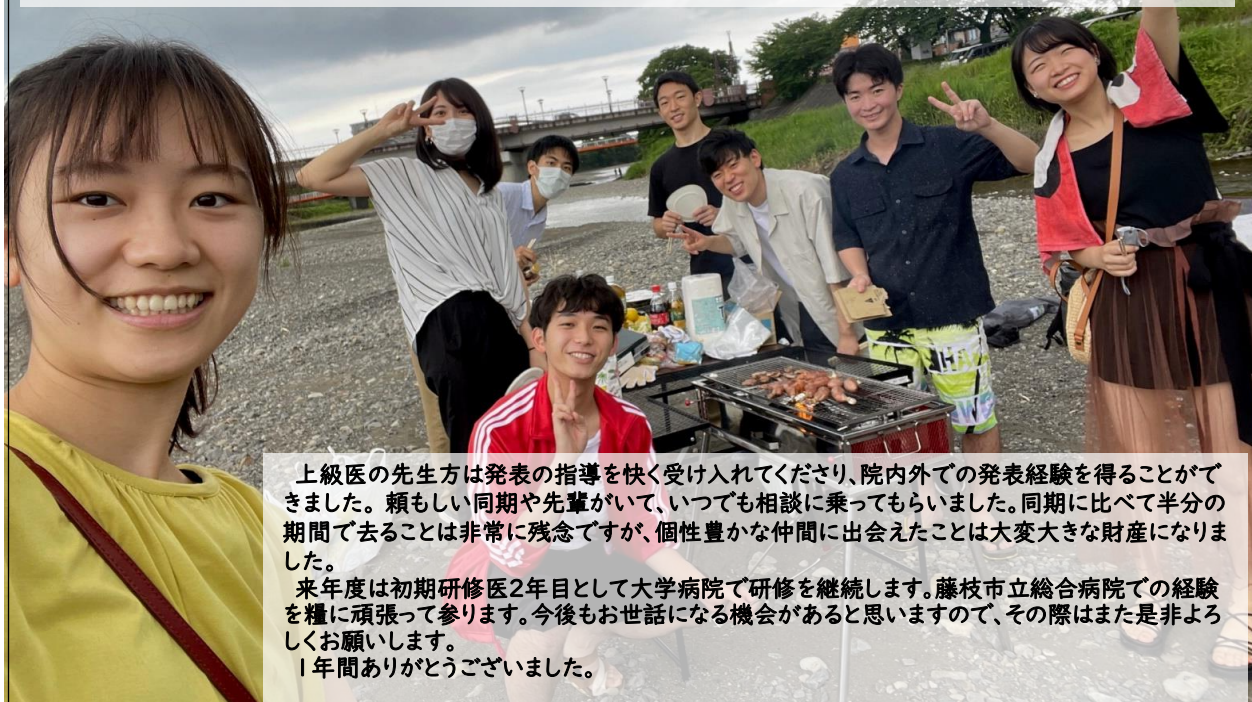


1年次 加藤 真理子 (東大たすき)

1年間の充実した研修機会をいただき、誠にありがとうございました。私は東京大学医学部附属病院のプログラムの一環として藤枝市立総合病院で研修させていただいたため、1年間で終了となります。

この1年間は、周囲の方々に支えていただきながら、医療者としても社会人としても成長させていただきました。藤枝市立総合病院は地域に根差した急性期病院でありcommon diseaseの検査結果や治療方針の決定などを日々勉強することができました。

病院全体が協力的な雰囲気で、疑問点はその都度解決しながら仕事の基礎を身に付けることができました。



上級医の先生方は発表の指導を快く受け入れてくださり、院内外での発表経験を得ることができました。頼もしい同期や先輩がいて、いつでも相談に乗ってもらいました。同期に比べて半分の期間で去ることは非常に残念ですが、個性豊かな仲間に出会えたことは大変大きな財産になりました。

来年度は初期研修医2年目として大学病院で研修を継続します。藤枝市立総合病院での経験を糧に頑張ります。今後もお世話になる機会があると思いますので、その際はまた是非よろしく願います。

1年間ありがとうございました。



研修センター通信

vol. 140

令和5年3月31日

発行:教育研修センター

「藤枝での1年間の初期研修を振り返って」



1年次 荻原 和樹 (山梨大たすき)

1年間の研修生活は思い返せばあっという間でした。とても恵まれた環境で初期研修1年目を過ごすことができ、本当に感謝しております。

4月、右も左もわからずスタートし、自分の無力さでおしつぶされそうになっていたことが昨日のこのように感じられます。優秀な2年目の先輩や上級医の先生方、看護師さんやその他コメディカルの方々の優しく丁寧な指導を受け、1年前と比べて少しは成長できたのではないかと思います。教育研修センターの事務の方々には迷惑を多くかけましたが、優しい笑顔でいつも迎えて下さり、心休まる時間となりました。ありがとうございました。

また、同期には感謝もしきれません。うまくいかないことや辛いことがあった時、いつも支えてくれたのは同期のみんなでした。とても優秀で一人一人尊敬する部分があり、本当に恵まれた環境だったなと思います。ありがとう。

4月からは山梨大学医学部附属病院で2年目の研修医として働きます。周りの方々に支えられてばかりでしたが、1年目や学生を指導する立場となります。藤枝で学んだことを生かし、指導する側として責任感を持って研修をしていきたいです。

1年間という短い間でしたが、自分にとって今後の人生で大事なピースになっていると思います。本当にありがとうございました。

また1年間研修お疲れ様でした。藤枝に遊びに来てくださいね！

益々の活躍を期待しています！